

学芸員が教える・夏休み自由研究のヒント！

知っていますか？実はみなさんの周りには、たくさんの「文化財」があります。

文化財とは「長い歴史の中で今日まで守り伝えられてきた文化的な財産」のことで、とても広い意味を持っています。

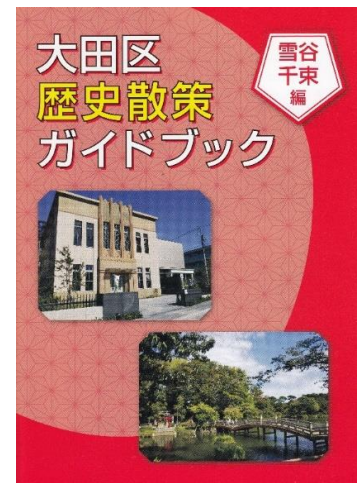
文化財というと、お寺や仏像、土器や埴輪、あるいは遠い昔にお城があった跡など「形のあるもの」がまず思い浮かぶかもしれませんが、実はこれだけではありません。たとえば、伝統芸能や工芸技術などの「技」や、お祭りなどの地域の伝統的な行事も文化財ですし、長い人々のくらしとその地域の風土によって形づくられた道路や建物なども、ぜんぶ大切な文化財です。

まずは、みなさんが住んでいるところの近くにどんな文化財があるか調べてみませんか？文化財学芸員が作成した『歴史散策ガイドブック』では大田区を8つのエリアに分けて、それぞれの地域の文化財を紹介しています。この本の中から、気になる文化財を選んでみてください。ここからが、あなたの「研究」のスタートです！

1. 「歴史散策ガイドブック」の解説を読む。

ガイドブックには大田区の文化財や史跡が地域別に詳しく書かれています。自分の住んでいるところや興味のある場所を選んで読んでみましょう！

大人向けの解説なので、わからない説明があったら周りの大人の人に聞いたり、辞書を使ったりして調べてみましょう！



一冊 100 円

「六郷・羽田」「蒲田・荏谷」「鵜の木・矢口」「大森・山王」「池上・久が原」「馬込・新井宿」「雪谷・千束」「嶺町・田園調布」編

2. 文化財を見に行く。記録する。

文化財を実際に見られる場所はたくさんあります。『歴史散策ガイドブック』では通常公開しているかどうかを確認できるので参考にしてください。

文化財を見に行ったら、まずはよく観察してみましょう。そこで気が付いたこと、不思議に思ったこと、形の特徴や周りの様子などをメモします。撮影OKの場所だったら、写真を撮っておくと良い記録になります。指定文化財の場合は「標識板」も建っていますので参考にしてください。

3. 記録を整理する。図書館や博物館で調べる。

帰ってきたら、自分のメモや写真を見返して、実際に見に行つて「わかつたこと」「わからなかつたこと」を書き出してみましょう。わからなかつたことや、新しく浮かんだ疑問があれば、図書館や博物館に行つてさらに調べてみましょう。

4. まとめる

「どんな様子・形だったか」「誰がはじめた・つくつたのか」「いつはじまつた・つくられたのか」「実際に見て思ったこと、考えたこと」などをまとめて、学校のお友達や先生に伝えたいことをまとめてみましょう！

5. 学芸員から

もっと調べてみたい、こんなこと聞いてみたいと思ったら郷土博物館にいる学芸員に聞いてください。私たち学芸員は、みんなが文化財のことを調べるお手伝いをしたいと思っています。調べたいと思う内容や、研究の進め方に正解も間違いありません。ぜひ自分だけのテーマを見つけてみましょう！

どうしても「何を調べていいかわからない…」という人には、特別に大ヒント！

①お寺の「本尊」の違いは・・・？

みなさんの家の近くにもいろいろなお寺があると思いますが、ほとんど全てのお寺には「本尊」として仏さまの像が安置されています。でも、全部が同じ像ではなく、お寺によって姿かたちの違う色々な仏さまが「本尊」になっています。この違いはなんだろう？

【さらに興味がある人は】近所のお寺に行つて、本尊について聞いてみよう！

②遺跡のつくられた場所は・・・？

大田区には、約240か所もの遺跡が確認されています（郷土博物館で『大田区遺跡地図』がもらえるよ！）。遺跡にも時代や目的によって色々な種類があるけれど、たとえば集落（ムラ）、縄文時代の貝塚、横穴墓といったまとまりで見えてみると、つくられた場所の地形に同じような特徴があることがわかります。どんなところだろう？そして、なぜだろう？

【さらに興味がある人は】大田区の地形の特徴である高低差（標高差）の理由から調べよう！低いところには何があるかな？

③昔、自分の家のまわりは・・・？

みなさんの中には生まれた時から大田区の人がいれば、最近引っ越してきた人もいますが、自分が住んでいる家の場所に、昔は何があったか知っていますか？図書館に『大田区の文化財』という本のシリーズがあるので、その24～26集「地図でみる大田区（1）～（3）」を見てみましょう。自分の家の近くは昔どんな「村」だったかな？そのころからできていた道は今の道路のどこかわかるかな？

【さらに興味がある人は】村をさらに細かく分けた「字」の名前が今も残っているものを探してみよう！